

目 次

I. 平成 27～29 年度総合研究報告書

- 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と
その治療法の開発等に関する研究……………○
研究代表者 古江 増隆

II. 平成 29 年度総括研究報告書

- 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と
その治療法の開発等に関する研究……………○
研究代表者 古江 増隆

III. 平成 29 年度分担研究報告書

01. 油症検診データを用いた基礎的解析……………○
研究分担者 香月 進
研究協力者 新谷 俊二, 高尾 佳子, 田中 義人, 梶原 淳睦
02. 食品を介したダイオキシン類等の人体眼部への影響に関する研究……………○
研究分担者 園田 康平
03. 油症検診受診者における黄斑疾患……………○
研究分担者 上松 聖典
研究協力者 北岡 隆
04. 油症検診における口腔細菌数に関する検討 ……………○
研究分担者 川崎 五郎
05. 油症患者における運動機能評価……………○
研究分担者 福土 純一
研究協力者 河本 五月
06. 油症における末梢血リンパ球亜集団に関する研究……………○
研究分担者 辻 博
07. 長崎県油症認定患者におけるセマフォリン 3A (Sema3A) の検討……………○
研究分担者 竹中 基
研究協力者 郡家 佑美
08. 油症認定患者における血清 Ah 受容体転写活性の検討……………○
研究分担者 竹中 基
研究協力者 富村 沙織

09. 油症患者血液中の PCDF 類実態調査……………○
研究分担者 香月 進
研究協力者 梶原 淳睦, 堀 就英, 平川 博仙, 安武 大輔,
新谷 依子, 小木曾 俊孝, 中西 加奈子, 佐藤 環,
高橋 浩司, 塚谷 裕子, 酒谷 圭一, 片宗 千春, 田中 義人,
新谷 俊二, 高尾 佳子, 宮脇 崇, 平川 周作
10. 平成 16 および平成 26 年度に測定した
油症患者血液中ダイオキシン類濃度の比較……………○
研究分担者 戸高 尊
研究協力者 広瀬 勇気, 上原口 奈美, 福島 直, 今地 政美
11. Deans Switch 型 SilFlow を用いた血中ダイオキシン類測定における
ソルベントカット大量注入法の開発……………○
研究分担者 香月 進
研究協力者 梶原 淳睦, 堀 就英, 平川 博仙, 安武 大輔,
新谷 依子, 小木曾 俊孝, 飛石 和大
12. 「安静時機能的 MRI 新規解析手法による脳機能的結合変化の解明」に関する研究…○
研究代表者 山下 謙一郎
13. 桂枝茯苓丸臨床試験の報告……………○
研究分担者 三苦 千景
研究協力者 貝沼 茂三郎, 宮崎 昭行
14. 地域住民における血中ダイオキシン類濃度と疾病および
疾病マーカーの関係の検討……………○
研究分担者 二宮 利治
研究協力者 吉田 大悟
15. カネミ油症患者におけるダイオキシン類異性体の濃度変化と
症状の変化の関係に関する研究……………○
研究分担者 赤羽 学
研究協力者 松本 伸哉, 今村 知明, 神奈川芳行
16. 油症曝露による継世代健康影響に関する研究
- 油症 2 世における卵巣機能と油症曝露状況との関連- ……○
研究分担者 月森 清巳
研究協力者 加藤 聖子, 諸隈 誠一
17. ダイオキシン類によるマウス肺傷害モデルにおける
肺サーファクタント蛋白に関する検討……………○
研究分担者 中西 洋一
研究協力者 鈴木 邦裕, 柳原 豊史
18. ベンゾピレンの投与がラットに及ぼす影響に対する行動学的、電気生理学的、
分子生物学的検討……………○
研究分担者 申 敏哲
研究協力者 吉村 恵

19. Helicobacter pylori 除菌後の胃癌発生に対する
activation-induced cytidine deaminase およびダイオキシンの関与……………○
研究分担者 江崎 幹宏
研究協力者 前畠 裕司
20. 2, 4, 6-三塩素置換ベンゼンを有する PCB 異性体の動物肝ミクロゾームによる代謝…○
研究分担者 古賀 信幸
研究協力者 太田 千穂
21. 2, 3, 7, 8-Tetrachlorodibenzo-*p*-dioxin による出生児の性未成熟の機構解析：
ゴナドトロピン放出ホルモン神経への影響……………○
研究分担者 石井 祐次
研究協力者 武田 知起
22. 2, 3, 7, 8-Tetrafluorodibenzo-*p*-dioxin のダイオキシン次世代毒性に対する
拮抗作用の検討……………○
研究分担者 石井 祐次
研究協力者 武田 知起
23. ペリルアルデヒドの効果について……………○
研究分担者 内 博史

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表……………○